

## 基地使用の一般的なルール

1995年4月1日初版作成  
1999年11月22日改訂  
2010年12月22日改訂  
2013年3月25日改訂  
2016年3月23日改訂  
2017年1月24日改訂

国立極地研究所ニーオルスン基地を利用する方へ

### はじめに

1. 国立極地研究所ニーオルスン基地（以下基地と記す）はニーオルスン国際研究観測拠点の丘（ノルウェー語でラベン（Rabben））にあります。そのため、現地では基地をラベンと呼ぶこともあります。基地設備などの案内については適宜、基地案内を参照してください。
2. 野外行動及び基地の運用に関して問題が生じた場合は基地使用者が各々の判断で行うのではなく、基地利用申請書に記載して頂いた調査隊長の指示に従って判断することを基本とします。

### 到着

1. 空港に到着したらKings Bay AS（以下、KB）の送迎バスに乗り、レセプションに行きます。レセプションで、所定の用紙に必要事項を記入してチェックインの手続きをしてください。特に出発日は間違いなく記入してください。事前に帰りの飛行機の便を予約していても、この記入時の出発日が帰りの飛行機の予約確認となりますのでご注意ください。
2. 必要な場合にはKBからシーツやタオルおよび車両（参照：運営規約中の車両の運用）を受け取ってください。車両の燃料不足の場合は「ディーゼル燃料」の項を参照して補給してください。

### 通貨

ニーオルスン内の支払いはノルウェークローネでの現金支払いのほか、クレジットカード（VISA、Master等）での支払いが可能となっています。ただし、週に2日営業するバーのみ現金払いとなります。

### 基地での生活

1. 外務省のホームページ「たびレジ」で邦人援護等領事業務用に滞在情報を登録ください。  
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
2. キッチン内に備え付けてある「基地活動報告書」（「実験施設の利用」7. を参照のこと）ファイルを読み、過去の基地滞在者からの引き継ぎ注意事項等の有無を確認してください。
3. 器具の使用：すべての器具（明らかに個人あるいは特定の観測に属するものを除く）はご自由にお使いください。補充の必要があるため、破損等で数が減った場合はその旨国際北極環境研究センターに届けてください。消耗品については自給を原則とします。
4. 食料：自炊する場合の食料は各調査隊が事前に調達する事を原則とします。キッチンの冷蔵庫は食料保存以外の目的（実験試料など）に使用しないでください。長期保存不可能な食料について（生野菜、肉、魚、乳製品など）は、ニーオルスン出発前には必ず処分し、好意であっても長期保存可能な食品も基地内に残置しないでください。また、キッチン内の共通食料（特定の所有者が明記されていないもの）のうち、賞味期限を過ぎている、或いは変質して飲食に耐えられないものについては、随時処分してください。
5. 文具：文房具等についても同様に、持参のものをご使用ください。もし、基地残存の文具等借用時に消費・破損した場合には、補充の都合上、使用記録を国際北極環境研究センターまで報

告ください。

6. 電話：基地備え付けの電話は公用に限ります。使用した場合は、日時、使用時間、連絡先とその電話番号、使用者名等をノートに記入し、活動経過報告書にも記載、もしくはノートのコピーを活動報告書に添付して下さい。私用電話はインターネット（Skype等）またはKBのレセプションにある公衆電話をご利用下さい。テレホンカードはKBのレセプションで販売しています。イリジウム衛星電話がキッチンに置いてあります。使用上の注意が書いてありますので、それに従って使用して下さい。
7. ゴミ処理：ニーオルスンではゴミの分別収集を行なっています。分別方法の詳細については基地食堂の掲示を参考にし、不明な点はKBに確認してください。基地出発前にはゴミの処分を忘れずに行なってください。
8. 器材のデポ：持参した物品は原則としてすべて廃棄または持ち帰ることとします。継続して使用する計画が決まっているときのみデポを認めます。デポする場合は4年を限度とし、大部屋（倉庫）に整理してまとめ、外装に所有者、使用グループ、保管期限などを明記してください（主たる担当者の所属が国立極地研究所以外の場合は、連絡者として国立極地研究所の担当者を決め、氏名を併記する）、残置期限、その他特記事項（例えば、低温、振動、転倒に注意など）。大部屋のスペースは、室内実験、機器の調整・整備、フィールド調査の準備等に使用しますので、ここへのデポは必要最低限のものに限定します。
9. 暖房：暖房は機器のスイッチで調節してください。0 = off、1 = on、数字 = 設定温度、太陽 = 強、月 = 弱です。大部屋（倉庫）には暖房がなく、また無駄に暖房する必要もありませんので、廊下端のドアは開放しないでください。
10. キッチン：キッチンへサンプルや薬品を持ち込まないでください。特に、流しと冷蔵庫の研究目的使用は厳禁とします。

#### 実験施設の使用（末尾の基地案内図を参照）

観測・実験目的に応じてスペースを使い分けます。本来の使用目的とかけ離れた使用はできる限り避けるよう心がけてください。大型の観測・研究機材を長期間設置する場合には、国際北極環境研究センターに事前に届け、場合によってはセンターに加え、ニーオルスン観測調整会議の承認を受ける必要があります。

1. ドライラボ：基本的にドライ環境で使用する観測機器、実験機器を使用するスペースです。多量の液体を扱う実験、試料・装備の長期保存には使用しないでください。（暖房設備がありません）
2. セミウェットラボ：セミドライ（若干の液体試料等を扱う）環境の観測室です。研究試料用冷蔵庫が設置されており、暗冷所での実験操作に主に使用しています。（暖房設備がありません）
3. ウェットラボ：床面に防水加工が施されており、多量の水を取り扱う実験に適しています。純水製造装置が備えてあります。この装置の使用希望者はカラム・フィルター（Milli-Q Labo用）の交換消耗品を持参してください。
4. 大気観測室（A, B）：ドライ環境の観測室で、現在気象等の連続観測に使用しております。関係者以外は基本的に立ち入り禁止、物品の持ち出し禁止です。観測室Bから倉庫につながるドアは、観測室室温制御のため夏期は開放、冬期は開放厳禁としています。（暖房設備があります）
5. 倉庫・作業室：野外観測機材、工具類、実験機材の保管、機材の整備、加工などに使用します。棚にある共通物品である工具類、装備類は適宜使用していただいてもかまいませんが、使用後は必ずもとの場所に返却し、破損・紛失、あるいは使用した消耗品類、不足工具がありましたら国際北極環境研究センターに申し出てください。
6. 屋上観測台：屋上観測台には測器が置いてあり、観測を行なっています。観測への影響を避けるため、観測に無関係な方は観測台へ近づかないようにして下さい。
7. 共通物品の消費状況も含めて、「ニーオルスン基地における観測活動経過報告書」（以下、報告書）を基地を発つ前に2部作成してください。その内1部をキッチンに備え付けのファイルに綴じ、1部を国際北極環境研究センターに帰国後速やかに提出してください。

#### 食事

1. Mess（食堂）で月曜日から金曜日は朝・昼・夕の3食、土曜日と日曜日はランチ・夕の2食用

意されます。食事時間を厳守してください。野外や実験等で夕食に行けない場合は置きが  
できますので、キッチン関係者に尋ねてください。また、パンや冷蔵庫に保管しているハム等は  
夜間でも食べることができます。

2. 実際の食事の回数にかかわらず、滞在期間はNOK585／3食、修士までの学生はNOK395／3食  
(2017年1月現在)の費用がかかります。

## バー

夏期間は週に2日、夜間営業しています。バーは食事と別料金で、その場で現金払いです。営業時  
間、曜日はMessの各テーブルに情報の書いてある紙が置かれています。

## 食料の入手

Messの食料をわけてもらうことができます。調理人が忙しくない時間に希望品目一覧表を渡して  
頼んでおくと、後刻(普通は翌日)引き取りに来るよう時間を指定してくれます。支払いはこの  
段階では不要です。(以下特に明記した箇所を除いて、すべてその場における金銭の授受を伴い  
ません。)

## 自動車・スノーモービルの使用

ニーオルスン基地には自動車があります。利用する場合には、調査隊長は車両運用の責任者とな  
り、安全・慎重に取り扱ってください。スノーモービルはKBからレンタルできます。走行禁止区域  
がありますので、事前にKBへ確認を取ってください。道路に速度規制は記されていませんが、速度  
の出し過ぎは事故に繋がりますので、節度を持って運転してください。特に夏期は観光客が道路を  
歩いていることがありますので、クラクションは使用せず、歩行者を驚かしたりすることの無い  
よう注意してください。

## ディーゼル燃料

ディーゼル燃料は、自動車の鍵につけられているボタン型のチップを使い、ガソリンスタンドにて  
セルフサービスで給油します。チップリーダーにボタンを重ね合わせます。ガソリン(Bensin)、軽油  
(Diesel)の区別があるので、十分注意して給油ハンドルを操作してください(国立極地研究所所有の  
車両はディーゼル燃料です)。灯油・オイル等は発電等の係員に頼んで分けてもらいます。各燃料  
を給油した場合には、調査隊長は活動経過報告書の所定の場所に記載し、帰国後に国際北極環境研  
究センターへ提出してください。

## 洗濯

シーツ類はKBがまとめて洗濯するので、必要に応じてゴミ処理室入り口の所定のかごに入れて下  
さい。新しいシーツやタオルは洗濯室奥の部屋にあり、自由に利用できます。

個人の洗濯はKB、Reception近くにある洗濯室の洗濯機・乾燥機が利用できます。洗剤、柔軟剤は  
置いてあるものを使用できます。

## 掃除

基地内部は週に1回掃除人が来ることになっています。玄関を掃除する際に靴が乱れておいてあ  
ると掃除人へ迷惑がかかります。常に整理するよう心がけてください。

## 買物

インフォメーションセンター向かいに売店があります。基本的に月曜日と木曜日の夕方に開店し  
ます。支払いは現金またはクレジットカードで行ないます。酒の購入に際しては航空券やe-チケ  
ットの提示が求められ、購入数量に制限があります。

## 外出

基地はホッキョクグマの出没危険地域内にあります。基地を離れる場合には、必ずライフル銃と  
信号弾を携行してください。また、飛行場エリアは立ち入り禁止区域です。絶対に許可なく立ち入  
らないでください。野外行動を行うときは事前に行動計画を調査隊長に伝えてください。野鳥保

護区や観測地域では立ち入り禁止区域がありますので、KBのレセプションや基地内のキッチンに掲示してある地図を確認して下さい。また、動物を驚かせたり、むやみに植物を傷めないよう配慮してください。

なお、ライフル銃の取り扱い、その運用と管理については必ず調査隊長の指示に従うほか、使用者全員がKB（有料）、もしくはUNISのホッキョクグマ安全講習を受講後に細心の注意を払って運用ください。学生のライフル銃の使用・携行は禁止します。特に冬季には、ホッキョクグマの出没に対処するため、隣接する屋外の観測施設に行く場合でも、調査隊長への連絡、懐中電灯の携行、外灯の点灯を励行して下さい。

## 野生動物

飼犬を含めた一切の動物や動物の死骸に素手で触れないようにしてください。

## 医療

基地にも救急箱はありますが、KBのレセプション、もしくは緊急時の連絡先（Watchmanへの連絡先がキッチンに掲示してあります）へ連絡すれば善処してくれます。薬類（特に風邪薬、胃腸薬などの内服薬）は各自で持参するようにして下さい。また残った分は食料や消耗品と同様、基地に残置せず、持ち帰るか処分してください。

## 帰りの準備

レセプションで帰りのLongyearbyen行き飛行機の予約状況を確認して下さい。天候次第で飛行機の運航が大幅にかかります。飛行機の欠航に備えて船の運行にも注意していると良いでしょう。

## 支払い

当日、飛行機に乗る前に、ロングイヤービン往復の航空運賃・食費・携行荷物の超過重量代・ライフル銃のレンタル代等の代金支払を、KBのレセプションですませてください。持ち込み荷物のうち特に重量や体積の大きい物品を手荷物とする場合は、出発の数日前にレセプションで可否や料金の確認をすることをお勧めします。

なお、ロングイヤービンへのフライトチェックインは、遅くとも出発の1時間前までに済ませてください。

## ニーオルスンを離れる前に

1. 基地の内部を到着時と同じ状態にしてください。暖房は電源を落とさず、7~10°Cに設定して下さい。
2. 玄関のドアがしっかり閉まっていることを確認して退出してください。
3. 自動車はKBのレセプション前の駐車場に返却してください。その際、冬季は凍結防止のためワイパーをあげ、車のヒーターケーブルを駐車場のヒーター用電源に接続してください。また、サイドブレーキは引かず、ギヤをバックに入れた状態で、ドアはロックせずにおいてください。

## その他

・基地リーダー会議(Station Leaders Meeting)への出席

ニーオルスンではKBのリサーチアドバイザーが議長となり各基地のリーダーが一堂に会する定例会議が行われています。各リーダーから活動の現況と次週の予定が報告されると共に、ニーオルスン全体に関わる事項が通知されます。基地代表者、もしくはその代理者は調査研究活動に支障の無い限り必ず出席して下さい。2016年3月現在は水曜午前8時15分から食堂2階のラウンジ奥にあるZeppelin Seminar Roomにて開催されています。時折、場所が変更されることがありますので、前日にレセプションまたはリサーチアドバイザーに時刻と場所を確認しておくとい良いでしょう。後日、国際北極環境研究センター宛に議事録が届きますが、会議内容で至急国立極地研究所国際北極環境研究センターへ連絡が必要な場合は、Eメール（aerc-nipr@nipr.ac.jp）で報告してください。

本書に関する問い合わせ先

国立極地研究所 国際北極環境研究センター ニーオルスン基地担当

TEL: 042-512-0645

E-mail: [NALYR@nipr.ac.jp](mailto:NALYR@nipr.ac.jp)

